

秋田県支部

秋田県における介護サービス事業に関する調査研究 ～介護サービス事業の課題と経営のポイント～

平成 21 年度の調査・研究事業のテーマは「秋田県における介護サービス事業に関する調査研究」とし、サブテーマを「介護サービス事業の課題と経営のポイント」としました。

平成 12 年 4 月から実施された介護保険制度は、措置から契約への移行、選択と権利の保障、保健・医療・福祉サービスの一体的提供といった、それまでの高齢者施策からは歴史的な転換を遂げる改革がなされました。介護保険制度の導入によって、高齢者介護のあり方は大きく変容し、同時に「シルバービジネス」という新しいビジネスが脚光を浴びることになりました。

第 1 章では、介護サービス事業を取り巻く現状について、全国および秋田県の状況を主に統計データに基づいて概観しました。介護サービス事業は、高齢化の進行とともに拡大し、将来の人口推計からみても今後ますます重要性を増していくものとみられます。

第 2 章では、介護サービス事業における労働実態について、(財)介護労働安定センターが毎年実施している「介護労働実態調査」に基づいて分析・解説しています。人的なサービスが主体となる介護サービス業界において、従業員の労働実態と就業意識を見ることにより、現場の置かれている状況が見えてきます。

第 3 章は、今回の調査研究事業で取り組んだ当支部独自のアンケート調査の集計結果について分析・解説をしています。秋田県内 400 余りの事業所を対象に実施したアンケート調査には、4 割近くに当たる 168 事業所から回答が寄せられました。質問の中には、売上や収益をはじめ経営の核心に触れるような内容もありましたが、回答内容は自由意見も含めて経営に対する真摯な姿勢が伝わってきました。集計では単純集計だけでなく、クロス集計による傾向分析も行うことで、規模別・事業内容別などの特徴点が明らかになりました。

第 4 章は、現場事業所を実際に訪問して調査したヒアリング結果です。2 社にご協力をいただき、日常的な課題、将来展望、行政等に対する意見・要望など、介護サービス事業に携わる方の生の声を取材することができました。

第 5 章では、財務的アプローチとして、公表されている経営指標から、介護サービス事業の特徴点・問題点を探り込み、「大規模化」「多角化」「サービスの標準化」「制度変化への対応」などを目指すべき経営戦略の方向性として提言しています。

第 6 章および第 7 章では、全体の状況を踏まえて介護サービス事業の課題を明らかにし、「経営のポイント」を整理しました。

介護保険制度の導入により、秋田県内においてもシルバービジネスは新しい産業として確立されましたが、経営面から見るとまだまだ課題が多いことが、アンケート調査からもうかがえます。

本報告書が、これから新たにシルバービジネスに参入して行こうと考えている事業者、さらなるステップアップを目指す事業者の方々の参考となれば幸いです。